

発刊の辞

昨年の四月に本学に日本語日本文化学科が新設されました。

本学科の教育カリキュラムは日本語・日本文学・日本文化の大きな三本柱によって構成されています。我々教員は、このなかのいずれかの分野を担当して、学生とともに教育、研究に励んでいるわけですが、教員の仕事は単に教育のみでなく、ひろく学界の発展に寄与する独創的な研究を世に問うことも、我々に課せられた重要な使命です。この『調布日本文化』は、日本語・日本文学・日本文化に関する本学教員の研究成果の発表の場とすることを念願し、この度発刊する運びとなったものです。本号は創刊号として新設の日本語日本文化学科の専任教員が、それぞれ専門の分野から力作を集めることができました。これらの論考は、もとより教育カリキュラムの内容に沿ったものではありませんが、ひろくアジア、また世界の中に日本文化を位置づけた論考も、この紀要が大いに待ち望む分野でございます。

このような教員の論文を蒐集した『調布日本文化』が教員の切磋琢磨の場として、また、相互の連帯を深める場として、調布学園女子短期大学の発展とともに充実したものになることを願ってやまない次第です。